医療と介護

- それぞれの課題といかに連携を進めるか - く社会科学の視点から>

- 2015年1月14日
- 医療介護福祉政策研究フォーラム
- ■慶應義塾大学
- ■田中滋

医療介護提供体制:二一ズの変化

- 医療と介護の多段階連続工程化
 - 急性期病院(病棟・病床)入院患者像の変容
 - エピソード由来の短期介入・60歳以下の医療→ 高齢者がもつ長期的・継続的なケアニーズ
 - 既存システムのパフォーマンス低下
- ■医療と介護の同時工程化
 - 特に重度者:疾患管理と介護は不可分

医療介護提供体制:理解の進展

- 桎梏=「施設対在宅対比概念」からの脱却
 - ■「在宅ときどき施設」
 cf. (ケースによって)「最後は施設」
 - ■在宅の範疇
- ■在宅生活の安心感を支える医療と介護
 - 生活の理解の上に成り立つ医療
 - 疾患管理と連携した介護
 - 在宅医療+病院や老健による救急を含む支援
 - ■リハビリテーションの重要性

医療介護をめぐる連携と統合 3つの層

■ ケア(質・効率)とケアマネジメント

■経営:事業者と自治体

■ 政策:提供体制論と社会保障制度論

一人一人の利用者に対するケアとケアマネジメント

- 介護(身体ケア)と医療
 - 悪化予防専門職協働によるアセスメントに基づく「プログラム化された」リハビリテーション
 - 口腔・栄養管理の充実
 - 包括型サービスとの組み合わせ
 - 看取り期における対応
 - 本人・家族も含む多職種協働

一人一人の利用者に対するケアとケアマネジメント

- ■生活支援
 - 見守り・安否確認・配食による栄養改善 etc.
 - ■コミュニティへの参加支援・多世代交流
 - ■権利擁護
- 認知症ケア
 - ケア技法の進化:ステージごとの生活障害対応
 - 初期集中支援チームと困難事例
 - 地域教育→地域見守り、 家族支援

経営:事業者と自治体

■ 事業者

- 事業所管理→法人経営
 - (1) 経営意思決定と個別事業ライン
 - (2) 法人のガバナンス
- ■戦略
 - (1) 2025年のポジション
 - (2) イノベーション: cf. プロセス革新
 - (3) インターフェースとマーケティング

経営:自治体

- ■自治体
 - 固有業務
 - (1) ニーズおよび需要と資源の把握、 将来推計、圏域間調整
 - 行政とは異なる地域マネジメント
 - (1) 既存資源のネットワーキング
 - (2) 地域ケア会議 (ケア方法論の統合)
 - 都道府県の役割

政策

- 提供体制論
 - 機能は圏域で確保
 - 医療:地域医療構想
 - 介護:地域包括ケアステーション
- 社会保障制度論
 - イノベーション振興
 - 人口の年齢分布・格差拡大社会に応じた再構築
 - 地域経済と雇用の支え